

企 画 展

■ 4階第1会議室

東北大学史料館「東北大学の戦争体験～戦時と戦後～」

東北大学史料館では、戦禍の中で生きた学生たちの記録を基に、戦争に関わる調査研究の展示を行います。新たな資料紹介を加え、大学の戦時と戦後について考えたいと思います。



軍事教練（昭和14年頃）

■ 4階第2会議室

宮城学院女子大学「大学生が向き合った80年目の仙台空襲」

終戦80年の令和7年度に宮城学院女子大学で心理学を学ぶ1年生が仙台空襲と向き合いました。当時の新聞や雑誌記事の見出しをデータベース化して分析し、空襲の背景や防空壕、終戦後の仙台の復興について考察を加えました。



宮城学院女子大学 アエルでの展示の様子（令和7年11月）

仙台市公文書館「公文書に見る戦中戦後の仙台市」

仙台市公文書館は、市の公文書のうち歴史資料として重要なものを「歴史的公文書」として永久保存しています。本展示では、その中の一部を使い、戦中戦後の仙台市とそこに暮らした人々の生活についてご紹介します。



現存する防空壕

■ 地下展示ホール

仙台・空襲研究会「巨大防空壕をさぐる一崖の横穴と街の縦穴」

民間用の壕として国内最大規模の防空壕(横穴式)を5分の1の構内図上に写真で表現します。また、街の焼け跡写真を精査・確認した掩蓋式防空壕(縦穴式)の写真を展示し、対照的な双方を様々な角度から紹介します。

■ 4階ギャラリー

◎漫画パネル展「爆弾と紙のランドセルと白いごはん」
漫画家 井上きみどり氏 作

■ 2階ラウンジ

◎「戦災を語り継ぐ人々」パネル展示
情報誌りらく連載「蒼空の月」より

■ 地下通路・倉庫

◎墨絵「七・一〇之譜」 ◎仙台空襲・犠牲者氏名板

■ 4階研修室

◎映像上映「仙台と空襲」・「西公園・広瀬川沿いの防空壕」

■ 1階資料展示室/ラウンジ

◎藩政時代から戦災復興事業完了までの写真や模型の展示
◎仙台市電のパネル展示

● ギャラリートーク 7/4(土) 13:00～

◎企画担当者による展示解説を行います。場所は各展示場所
なりますが、4階→地下1階の順に行います。

1階ロビー

7/4(土)

10:00 開会式
10:30 紙芝居上演
11:00 仙台空襲体験発表

7/5(日)

10:30 仙台空襲体験発表

7/11(土)

10:30 仙台空襲体験発表
11:00 箏笛演奏

7/12(日)

10:30 紙芝居上演
11:00 仙台空襲体験発表

まち歩き 7/9 (木) 10:00～12:00

「開業100年を迎える仙台市電跡を歩く」(定員15名・先着順)

案内人 庄子喜隆氏 [仙台市電愛好家]



□経 路: 仙台駅 → 南町通 → 片平 → 戦災復興記念館
□申込方法: 6月19日(金)10:00より電話にて受付開始
□連 絡 先: 仙台市戦災復興記念館 022-263-6931

体験型ワークショップ

仙台空襲を知ろう！未来の平和を創ろう！

7/11(土) 13:00～16:30 (先着順)

大学生の説明で資料展示室を見学し、仙台空襲や平和について学び、感じたことをアートで表現します。

□会 場: 5階会議室

□参加対象: 小学4～6年生(保護者同伴)

□申込方法: 右の二次元コードよりお申し込みください



主 催/仙台市

協 力/東北大学史料館、東北学院史資料センター、宮城学院女子大学心理行動科学科、仙台・空襲研究会、(株)プランニング・オフィス社りらく編集部、
仙台ひとまち交流財団・東北共立グループ(仙台市戦災復興記念館指定管理者)

後 援/河北新報社、朝日新聞社仙台総局、毎日新聞仙台支局、読売新聞東北総局、産経新聞社東北総局、日本経済新聞社仙台支局、共同通信社仙台支社、時事通信社仙台支社、

NHK 仙台放送局、tbc東北放送、株式会社仙台放送、ミヤギテレビ、khh東日本放送、エフエム仙台、仙台シティエフエムラジオ 3.fmi ずみ 797、エフエムたいはく株式会社